

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
	教育委員会運営事業		
1	教育委員会運営事業	教育委員会の運営	②
2	教育委員会表彰事業	教育・文化等貢献者の表彰	-
3	事務局運営事務事業	事務局の運営	②
4	就学事務事業	就学時健康診断、就学相談・指導	-
	学校教育指導振興事業		
5	学校教育指導振興事業	AET教育、教職員の指導向上を図る研修・研究、部活動外部指導者派遣、水泳学習	-
6	大磯学びづくり推進事業交付金	児童・生徒の学習意欲を高め、学びの質向上を目的とする	⑤
7	健康管理事業	児童・生徒、教職員の総合的な健康管理	-
	教育研究所維持管理・運営事業		
8	教育研究所維持管理事業	教育研究所の維持管理	-
9	教育研究・研修事業	教職員の研修・研究、子ども作品展・小中学校音楽会	-
10	適応指導教室事業	不登校等児童・生徒の相談・援助・指導	-
11	児童・生徒指導支援事業	児童・生徒の相談・学習指導	-
12	支援教育推進事業	配慮を要する児童・生徒への支援	-
13	学校図書館運営事業	学校図書館の維持管理運営	-
14	高校生就学支援事業	高校就学への経済的援助	-
15	学校運営事業(小学校) 学校運営事業(中学校)	小・中学校の事務運営	-
16	学校施設・設備維持事業(小学校) 学校施設・設備維持事業(中学校)	小・中学校施設の維持管理	-
17	学校プール管理運営事業	学校プールの維持管理	-
18	コンピュータ教育推進事業(小学校) コンピュータ教育推進事業(中学校)	小・中学校のコンピュータ教育	-
19	学校職員校務用コンピュータ整備事業(小学校) 学校職員校務用コンピュータ整備事業(中学校)	小・中学校教職員のコンピュータ維持管理	-
20	大磯小学校施設整備事業	大磯小学校音楽室空調設備設計委託料	③
21	要保護・準要保護児童就学援助事業(小学校) 要保護・準要保護児童就学援助事業(中学校)	児童・生徒への就学援助	-
	教育振興推進事業(小学校) 教育振興推進事業(中学校)		
22	教育振興推進事業	教職員の研究・研修、35人学級実施	-
23	生徒会・部活動等補助事業	生徒会・部活動等への補助金交付	-
24	特別支援教育就学奨励事業(小学校) 特別支援教育就学奨励事業(中学校)	特別な支援を要する児童への援助	-
25	学校給食運営事業	小学校給食の運営管理	-
26	学校給食施設・整備維持事業	小学校給食施設の維持管理	-
27	学校給食運営事業	中学校給食の運営管理	-
28	庁内事務(庁内会議、議会対応等)		⑦

予算事業名	教育委員会運営事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	教育委員会表彰事業	係名	教育総務係
		事業番号	2
		事業開始年度	昭和59年度

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	A 教育内容の充実	事業名	—
中施策	(3) 豊かな心を育む学校教育の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町教育委員会表彰規程				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	大磯町の教育・文化の振興・発展を促進する。				
対象 (誰を・何を)	大磯町の教育、学術及び文化の振興及び発展に貢献した個人又は団体				
内容	大磯町の教育、学術及び文化の振興及び発展に貢献した個人又は団体を表彰する。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	96	90	90
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	96	90	90
	職員人数 (概算職員数)	人	0.01	0.03	0.03
	人件費計 (b)	千円	31	173	169
総事業費 (a)+(b)	千円	127	263	259	
事業費内訳 H 29 年度	消耗品費 90千円				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民人口	人	32,377	31,479	31,431
	②				
活動指標 (活動量)	① 表彰者数	人	28	45	50
	②				
成果指標 (達成度等)	① 表彰者数/町民人口	%	0.08	0.14	0.15
	② 表彰者一人当たりの事業費	円	2,291	2,000	1,800

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	大磯町の教育や文化振興・発展に貢献した方々を表彰し、その発展に寄与するためであるので、教育委員会として実施すべき事業。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	教育委員会会議で慎重な審議を経て決定している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	表彰の実施により、その目的は概ね達成している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	表彰に係る消耗品のみの経費。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	表彰に係る消耗品のみの経費。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	最小限の経費で、その目的は概ね達成されているため。改善点は絶えず模索していく必要がある。
担当課による 評価			

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	表彰に値する方の発掘について、偏りが無い、前例の踏襲になっていないか等、検討を要する。
② 平成29年度に着手する事項	被表彰者の発掘の手法について検討。
③ 平成30年度に着手する事項	被表彰者の発掘の手法について検討。

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月29日

現行を継続するが、漏れのないように基準に則り検討していく。
-------------------------------

予算事業名	就学事務事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	4
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(2) 安全で教育効果を高める環境の整備		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校保健法、学校教育法、大磯町心身障害児就学指導委員会要綱				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	学校保健法に基づき、小学校入学前児童及び心身に障害をもつ児童・生徒の健全な就学を推進する。				
対象 (誰を・何を)	小学校入学前の児童、心身に障害を持つ児童・生徒				
内容	小学校入学前児童の健康診断を実施。心身に障害を持つ児童・生徒に対し就学指導を実施。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	428	505	519
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	428	505	519
	職員人数 (概算職員数)	人	0.24	0.32	0.34
	人件費計 (b)	千円	1,433	1,847	1,919
総事業費 (a)+(b)	千円	1,861	2,352	2,438	
事業費内訳 H 29 年度	医師報酬 376    講師等謝金 45    消耗品費 13    滅菌消毒委託料 85    (千円)				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 小学校入学前の児童数	人	246	285	360
	②				
活動指標 (活動量)	① 就学時健康診断の実施回数	回	2	2	2
	② 就学指導委員会の実施回数	回	2	2	2
成果指標 (達成度等)	① 健診受診者一人当たりの事業費	円	7,565	8,253	6,772
	②				

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	法令に基づく事業のため。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	法令に基づき、概ね適正な手段で実施。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	健康状況の早期発見・把握や配慮を要する児童への対応に寄与している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	医師会、歯科医師会等の協力により、概ね効率的に実施している。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	最小限の経費で実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	法令に基づき、最小限の経費で実施している。

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	各健診をスムーズに行うための改善 会場の負担軽減
② 平成29年度に着手する事項	なし。
③ 平成30年度に着手する事項	なし。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

就学時健康診断について、会場への負担が大きい為健診方法の改善を行っている。また、平成31年度には民間委託も視野にいれ調査や予算を考えていく。

予算事業名	学校教育指導振興事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	学校教育指導振興事業	係名	教育指導係
		事業番号	5
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	A 教育内容の充実	事業名	—
中施策	(1) 確かな学力を育む学校教育の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校教育法施行規則・教育公務員特例法				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	児童・生徒の国際理解教育、英語教育の推進を図る。各種研究・研修を通して、教職員の指導力向上、部活動指導の充実を図る。				
対象 (誰を・何を)	幼稚園児・小学校児童・中学校生徒・教職員				
内容	英語指導助手を雇用し、各幼稚園・小学校・中学校に派遣し、英語教育を実施。教職員に対し、各種研修事業及び研修事業を実施。部活動外部指導者を中学校部活動に派遣。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	13,140	10,763	10,539
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	860	500	
	起債	千円			
	その他	千円	4,132	27	77
	一般財源	千円	8,148	10,236	10,462
	職員人数 (概算職員数)	人	0.08	0.33	0.33
	人件費計 (b)	千円	439	1,905	1,862
総事業費 (a)+(b)	千円	13,579	12,668	12,401	
事業費内訳	社会保険料 1,241    臨時雇賃金 7,020    講師等謝金 1,027    費用弁償 90 手数料 119    傷害保険料 32 地域ふれあい学習推進事業交付金 450    人権教育研究交付金 160 大磯学びづくり推進事業交付金 400 (千円)				
H 29 年度					

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 園児・児童・生徒・教職員	人	2,385	2,322	2,812
	②				
活動指標 (活動量)	① 英語指導助手派遣日数	日	390	390	390
	② 部活動外部指導者派遣日数	日	622	800	850
成果指標 (達成度等)	① 園児・児童・生徒・教職員一人当たりの事業費	円	5,693	5,455	3,747
	② 生徒一人当たりの部活動外部指導者派遣日数	日	1	1	1

#### 4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 学校教育における指導振興を目的としており、学校教育課が主体となって事業を実施することが適切であると判断できる。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 教育委員会が指導者の派遣をすることは妥当と考えられるため。ただし、学校に学校運営の主体性を求めるためには、学校の裁量により執行できる予算を確保することが必要になってくるため。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 県大会以上のレベルに出場する部が毎年継続してあることや、新学習指導要領における小学校の外国語活動がスムーズに導入できたことから、広く、児童や生徒の学力向上、教員の授業力向上を追求するためには、継続した取り組みが必要である。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 学校教育における指導充実に限られた予算の中で取り組んでいる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 英語指導助手の賃金については、以前の月額報酬から時間給に変更している。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 学校教育における指導充実のために取り組むべきことは多様であり、その年度の重点とすべき事柄を常に見直していく意識が必要である。

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	学校に学校運営の主体性を求め、学校教育における指導振興を進めるために、学校の裁量により執行できる予算の確保について検討する。
② 平成29年度に着手する事項	かながわ学びづくり推進地域研究委託事業の受託が平成28年度で終了したため、「大磯学びづくり推進研究交付金」を拡充し、各校の研究体制の充実に努める。
③ 平成30年度に着手する事項	部活動の在り方検討に伴う、地域指導者の支援制度のあり方の見直し

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

小学校外国語活動・外国語科の移行措置期間にあたるため、英語教育の推進をさらにすすめていく。部活動の適切な活動時間や休養日に関しては、国・県段階の議論を踏まえ、基準を設けていく。

予算事業名	健康管理事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	7
		事業開始年度	—

### 1.総合計画上の位置づけ

柱	IV 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	A 教育内容の充実	事業名	—
中施策	(2) 健やかな体を育む学校教育の推進		

### 2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校保健法、結核予防法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法							
個別計画等	—							
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—				
目的 (何のために)	園児・児童・生徒、教職員の健康の保持と増進を図る。							
対象 (誰を・何を)	幼稚園児、小学校児童、中学校生徒及び教職員							
内容	健康管理を医師会等へ委託。児童・生徒結核対策委員会（年1回）を実施し、結核予防や結核対策の健康方針を検討。年1回健康診断を実施。							
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他							
事業費	直接事業費 (a)	千円	平成27年度 (決算)	13,034	平成28年度 (決算見込)	10,568	平成29年度 (予算)	11,313
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	起債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		13,034	10,568		11,313	
	職員人数 (概算職員数)	人		0.15	0.33		0.24	
	人件費計 (b)	千円		895	1,905		1,354	
	総事業費 (a)+(b)	千円		13,929	12,473		12,667	
事業費内訳	学校・園医報酬 3,360 学校・園薬剤師報酬 326 委員報酬 72 健康管理相談謝金 120 消耗品費 103 印刷製本費 69 検診委託料 3,278 児童生徒健康管理委託料 458 結核精密検査等委託料 69 滅菌消毒委託料 631 自動車借上料 40 中郡学校保健会負担金 24 日本学校歯科医師会分担金 60 県学校歯科医師会分担金 6 日本スポーツ振興センター掛金 2,392 学校旅行総合保険 (学校条項) 負担金 67 県費負担教職員健康診断補助金 138 学校災害見舞金 100 (千円)							
H 29 年度								

### 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 園児・児童・生徒・教職員数	人	2,900	2,824	2,812
	②				
活動指標 (活動量)	① 園医・学校医数	人	37	37	37
	②				
成果指標 (達成度等)	① 医師一人当たりの園児・児童・生徒・職員数	人	78	76	76
	② 対象者一人当たりの事業費	円	4,803	4,417	4,505



#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	法令に基づく事業のため
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	法令に基づき、概ね適正な手段で実施。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	園児・児童・生徒及び教職員の健康状況の把握と早期発見に寄与している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	医師会、歯科医師会及び薬剤師会の協力を得て効率的に実施している。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の経費で実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 法令に基づき、医師会等の協力の上最低限の経費で実施している。	

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	内科健診（運動器検診）実施に伴う課題
② 平成29年度に着手する事項	整形外科医への受診勧告
③ 平成30年度に着手する事項	現段階ではなし。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

例年以上に中郡医師会の連携をし、児童生徒の健康管理に努めている。

予算事業名	教育研究所維持管理・運営事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	教育研究所維持管理事業	係名	教育指導係
		事業番号	8
		事業開始年度	平成14年度

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	A 教育内容の充実	事業名	—
中施策	(1) 確かな学力を育む学校教育の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	教育研究所設置要綱等				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	教育研究所施設の適正な維持管理を図る。				
対象 (誰を・何を)	児童・生徒、教職員				
内容	教育研究所施設の事務機器、維持管理経費				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,168	384	572
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,168	384	572
	職員人数 (概算職員数)	人	0.16	0.13	0.11
	人件費計 (b)	千円	908	750	621
総事業費 (a)+(b)	千円	2,076	1,134	1,193	
事業費内訳 H 29 年度	消耗品費 50    燃料費 10    光熱水費 113    通信運搬費 112 機械警備委託料 117    修繕料 25    (千円)				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・生徒数	人	2,385	2,322	2,359
	②				
活動指標 (活動量)	① 開所日数	日	239	239	239
	②				
成果指標 (達成度等)	① 一人当たりの事業費	円	489	165	242
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	教育研究所には県費負担教員が適応指導教室における指導のために配置されている。しかし、研究所には専任の町職員の配置はなく、学校教育課の職員が兼務している状況である。以前は相談員を兼務する所長の配置があったが、今後については検討の余地があると考えられる。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	休日・夜間は機械警備を委託している。私立こいそ幼稚園との管理切り分けも機能している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	平成26年度中に適応指導教室に空調機械が整備され、通室する児童・生徒に対して快適な学習環境を整えることができた。しかし、相談室には空調機械が整備されていないので、教育相談を行う場所としては改善の必要がある。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他	理由	教職員の研究・研修を充実させるためのコストはそもそも充分にない。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	空調機械の利用は通室する児童・生徒が学習する時だけにしたり、カーテンで仕切るなど、効果的に利用するようにしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b>  最低限の維持管理はできているが、相談環境の改善を図る必要がある。	
担当課による評価			

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	町で採用している指導協力員を複数配置することにより、指導の充実が図られることができた。教育研究所及び適応指導教室の移転について、具体的な検討を進める必要がある。
② 平成29年度に着手する事項	教育研究所の在り方（移転を含む）について、検討。
③ 平成30年度に着手する事項	検討事項を踏まえ、事項の着手。

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月29日

教育研究所移転に向けて、改修工事実施設計業務（委託）をすすめる。  
 現在施設の適切な維持管理に向けて、担当者と検討。

予算事業名	教育研究所維持管理・運営事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	教育研究・研修事業	係名	教育指導係
		事業番号	9
		事業開始年度	平成14年度

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	IV 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	A 教育内容の充実	事業名	—
中施策	(1) 確かな学力を育む学校教育の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	教育研究所設置要綱等				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	教職員研修の支援、教職員の資質向上。				
対象 (誰を・何を)	幼稚園、小・中学校教職員。				
内容	研究所が主体的に行う講演会・研修講座や研究部が行う研修講座等を支援し、教職員研修の充実を図る。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	718	1,346	798
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	718	1,290	798
	職員人数 (概算職員数)	人	0.10	0.17	0.17
	人件費計 (b)	千円	572	981	959
総事業費 (a)+(b)	千円	1,290	2,327	1,757	
事業費内訳 H 29 年度	講師等謝金 100    消耗品費 20    通信運搬費 24 自動車借上料 91    自動車通行料 13    会場使用料 60 県教育研究所連盟負担金 22    教育研究交付金 180    教育研修交付金 152    (千円)				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 研究職員数	人	151	161	163
	②				
活動指標 (活動量)	① 研究部による研究・研修回数	回	110	90	100
	②				
成果指標 (達成度等)	① 1研究・研修当たりの事業費	円	29,591	28,072	36,000
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	教育研究所（すべての教員）が主体的に研究・研修に取り組むことは、機関の設置意義を考えたときに妥当であると判断できる。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	教員一人ひとりが主体的に研究・研修に取り組む環境を整えるという方法は妥当であるが、教育研究所として機会や場の設定をすることができるとなお良いと考える。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	研究部による研究・研修の内容に工夫が見られるが、研究・研修の成果を教員全体で共有することについては、改善が必要であると考えます。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	コストは、研究や研修の内容によるものよりも、年度により教育副読本の発行にかかる割合が大きく、教員の研究・研修に係るコストは概ね効率的であると判断できる。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	教員にとって研究・研修は必要であるが、日々の業務の負担感もあるので、効果的・効率的な研究・研修について内容等を精選していきたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	教員の資質向上を目指すことは言うまでもないことであり、教育研究所の研究・研修事業をさらに活性化することが求められる。

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>教員による自主的な研究・研修を進めるために、予算配当について見直しを図る。 教員のニーズの高い研修会を開催できているか。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>教員の業務負担に伴う、本当にニーズのある研修会の精選。 自主的な研究・研修会の開催を支援する。</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>経験を少し積んだ教員のさらなる資質能力向上を図る実践的な研究・研修会の実施。</p>

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月29日

研修内容の見直し・精選を続ける。平成14年度からそのままであった研究所研究組織を再編成した初年度にあたるため、見直した結果の検証。

予算事業名	教育研究所維持管理・運営事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	適応指導教室事業	係名	教育指導係
		事業番号	10
		事業開始年度	平成14年度

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	A 教育内容の充実	事業名	—
中施策	(3) 豊かな心を育む学校教育の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	教育相談に関わる種々の活動及び教員の教育相談体制を整備する。				
対象 (誰を・何を)	児童・生徒、教職員。				
内容	適応指導教室の運営及び教育相談に関わる各種活動及び外部講師による教育相談事例研修会の実施。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,313	3,662	3,638
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	3,313	3,766	3,638
	職員人数 (概算職員数)	人	0.12	0.08	0.08
	人件費計 (b)	千円	685	462	451
総事業費 (a)+(b)	千円	3,998	4,124	4,089	
事業費内訳 H 29 年度	社会保険料 11 通信運搬費 62	臨時雇賃金 3,624 (千円)	講師等謝金 180	費用弁償 3	消耗品費 50

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 研究会参加人数	人	100	120	120
	② 適応指導教室開室日数	日	200	200	200
活動指標 (活動量)	① 相談のべ件数	件	1,498	1,263	1,350
	② 適応指導教室通室者数	人	5		10
成果指標 (達成度等)	① 研修会1回当たりの参加教員数	人	17	13	20
	② 正式通室児童生徒数	人	4		5

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	学校外に、学校の教育相談機能をサポートする施設は必要であり、妥当であると考えられる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	適応指導教室の運営、教育相談窓口の運営、教育相談研修会の開催により、学校の教育相談をサポートするとともに、学校の教育相談体制の整備に寄与している。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	臨床心理士や指導協力員の配置充実により、教育相談機能が改善されてきた。今後もいじめや発達障害、不登校等の課題への対処のため、さらなる拡充を進めていきたい。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	教育相談の件数は多く、内容の多岐に渡り、限られた人的配置の中で効率的な運営ができている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	教育相談機能の充実は今後も必要であり、現段階ではコストの削減を考えていない。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	いじめや不登校、発達障害に関する相談など、今後もますます教育相談へのニーズは高まっていくことが想像できる。現在の取り組みを維持し、課題を整理しながら改善をしていくことが求められる。

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>継続的に通室した児童生徒はいなかったが、以前に通室していた児童生徒へのフォローのために積極的に学校訪問を行うことができた。</p> <p>心理面へのアプローチだけでなく、社会福祉的な視点での援助が必要なケースが増加している。臨床心理士だけでなく、SSW（スクールソーシャルワーカー）の雇用も視野に入れていく必要がある。</p>
② 平成29年度に着手する事項	SSWの活用。
③ 平成30年度に着手する事項	<p>教育相談体制の見直し。</p> <p>町雇用SSWのさらなる活用（勤務時間の増加含）。</p>

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

SSWの更なる活用に向けて、関係機関とも調整を図る。

予算事業名	児童・生徒指導支援事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育指導係
		事業番号	11
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	A 教育内容の充実	事業名	—
中施策	(3) 豊かな心を育む学校教育の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	児童・生徒の心の悩みを軽減し、円滑な就学を支援する。				
対象 (誰を・何を)	児童・生徒				
内容	心の教室相談員・指導協力員等を配置し、心の悩み等の軽減を図る。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,385	3,393	4,224
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	3,385	3,393	4,224
	職員人数 (概算職員数)	人	1	0.59	0.59
	人件費計 (b)	千円	3,405	3,405	3,329
総事業費 (a)+(b)	千円	6,790	6,798	7,553	
事業費内訳 H 29 年度	調査委員報酬 99    社会保険料 13    臨時雇賃金 4,060    通信運搬費 52    (千円)				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・生徒数	人	2,385	2,322	2,359
	②				
活動指標 (活動量)	① 中学校相談室利用者数	人	803	656	700
	② 心の教室相談員相談ケース	件	51	5	10
成果指標 (達成度等)	① 児童・生徒一人当たりの事業費	円	1,168	1,461	1,790
	②				



#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	子どもたちが抱える心の悩みや不適應への対応は、日常の教育活動を進める上で欠かせないことであり、本事業を教育委員会学校教育課が実施することは妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	子どもたちが抱える心の悩みや不適應を解消するためには、心理的、福祉的、教育的視点のアプローチが必要であり、それぞれ専門性のある人を配置することは必要なことである。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	不登校児童・生徒の数だけを見ると、劇的な成果は得られていないが、多様な難しさを抱える児童・生徒が増えている中、一定の成果は得られていると捉えている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	心の教室相談員や指導協力員等、限られた人数で最大限の効果を挙げていると考えられる。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	心理を学ぶ大学院生を配置することにより、コストを削減しつつ、事業の推進を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 相談体制の構築により、個に応じた対応が以前より丁寧になったが、保護者や児童生徒のニーズに合わせてさらなる体制の充実が求められる。	
担当課による評価			

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>学習の遅れから不適應となる児童・生徒が一定数いることから、教員資格を持った指導協力員の配置をより充実させていく必要がある。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>指導協力員の配置人数増に向けての検討。 心の教室相談員と学校に配置されている教育相談コーディネーター及びスクールカウンセラーとの連携と円滑な相談体制の構築。</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>指導協力員のさらなる配置人数増に向けての検討。 相談体制の円滑な運用。</p>

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月29日

相談体制の円滑な運用に向けて、町全体の相談体制一覧の整理。

予算事業名	支援教育推進事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育指導係
		事業番号	12
		事業開始年度	平成19年度

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(2) 安全で教育効果を高める環境の整備		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	支援を必要とする園児・児童・生徒の教育活動の推進を図る。				
対象 (誰を・何を)	園児、児童・生徒				
内容	支援を必要とする園児・児童・生徒の教育活動の推進を図るため、幼小中学校に教育支援員を配置する。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	23,027	23,579	27,355
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	99	81	288
	一般財源	千円	22,928	23,498	27,067
	職員人数 (概算職員数)	人	0.90	0.13	0.13
	人件費計 (b)	千円	5,265	750	734
総事業費 (a)+(b)	千円	28,292	24,329	28,089	
事業費内訳 H 29 年度	社会保険料 368 看護委託料 700	臨時雇賃金 26,208 (千円)	講師等謝金 27	費用弁償 52	

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① (園児、) 児童・生徒数	人	2,385	2,322	2,359
	② 対象(園児、) 児童・生徒数	人	117	139	142
活動指標 (活動量)	① 教育支援員配置数	人	24	25	26
	②				
成果指標 (達成度等)	① 対象者当たりの事業費	円	196,811	179,294	192,640
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	支援を必要としている子どもたちを把握している教育委員会学校教育課が教育支援員の配置をし、実際の管理運営を学校が行う形式が現実的である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	支援を必要とする子どもたちへの教育を成立させ、充実させるためには、個別に関わる支援員の配置は欠かせない。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	教育ニーズが多様化している現在、教育支援員の配置により、教員だけでは対応しきれない子どもたちへの支援を実施することができている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他	理由	事業の中心は人の配置であるため、他事業と比べてコストはかかっているが、配置している教育支援員は学習場面や生活場面で常に子どもの支援に当たっている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	現在かかっているコストについて、効率性を観点としてその削減を図ることは、本事業の評価にはふさわしくないと考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 平成18年度以前の介助員や生活支援員等、職種を分けての配置だったが、配慮を要する子どもたちへの支援員を一本化する現在の方法には妥当性があり成果も上がっている。	
担当課による評価			

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	児童・生徒の実態に応じた教育支援員の配置と研修機会の充実を図る。
② 平成29年度に着手する事項	教育支援員対象の研修会を実施し、教育支援員の資質向上を図る。さらに学校現場のニーズを踏まえた研修内容の充実を図る。
③ 平成30年度に着手する事項	児童・生徒の実態に応じた教育支援員の配置と研修会の継続・充実を図る。

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

引き続き児童・生徒の実態に応じた教育支援員の配置とともに、教育的ニーズの理解を深める研修会の継続・充実を図る。

予算事業名	学校図書館運営事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育指導係
		事業番号	13
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(2) 安全で教育効果を高める環境の整備		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校図書館法、学習指導要領				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	各小・中学校図書館の図書環境の充実を図る。				
対象 (誰を・何を)	児童・生徒、教職員、学校図書館司書				
内容	児童・生徒用図書の購入、小・中学校4校に学校図書館司書を配置。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	4,505	5,377	5,983
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	15	115	42
	一般財源	千円	4,490	5,262	5,941
	職員人数 (概算職員数)	人	0.05	0.04	0.04
	人件費計 (b)	千円	290	231	226
総事業費 (a)+(b)	千円	4,795	5,608	6,209	
事業費内訳 H 29 年度	社会保険料 54    臨時雇賃金 3,822    消耗品費 2,030    学校備品購入費 77 (千円)				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・生徒数	人	2,385	2,322	2,359
	②				
活動指標 (活動量)	① 学校図書館司書の勤務時間数	時間	3,150	3,900	3,900
	② 図書貸出数	冊	21,548	21,700	21,882
成果指標 (達成度等)	① 児童・生徒1人当たりの図書貸出数	冊	9	9.3	9.3
	② 図書貸出冊数当たりの事業費	円	209	245	273

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 各学校の図書館運営である。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 学校図書館司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により、概ね良好である。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 学校図書館司書の4校配置により、蔵書管理およびレファレンス機能が促進されている。また、授業への図書資料の活用も増加している。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 学校図書館運営上、各校1名の配置は適正と考える。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他 児童・生徒のニーズや指導のためには、一部コストを増額する必要性も否めない。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	
		評価理由 子どもたちへの読書活動の推進を図るためには、図書の定期的な更新は必須である。そのためには図書購入費・環境整備費の増額が望ましい。	

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	読書活動推進のための資料の充実、より利用しやすい学校図書館としての環境整備を進める。
② 平成29年度に着手する事項	学校図書館事業の一層の充実を図るために、学校図書館司書との連絡・情報共有を進める。また、読書活動推進のための図書・調べ学習に必要な資料の充実、より利用しやすい学校図書館をめざし、環境整備を進める。
③ 平成30年度に着手する事項	読書活動推進のための図書・調べ学習に必要な資料の充実・環境整備を進め、学校と町図書館との連携を推進する。

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

会議を通じて、学校図書館司書等と町図書館とで連携し、読書活動の活性化に向けた課題の共有・推進を進めていく。

予算事業名	高校生就学支援事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	14
		事業開始年度	平成21年度

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(2) 安全で教育効果を高める環境の整備		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町私立高等学校等就学支援補助金交付要綱				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	高校進学、高校就学の円滑な推進を図る。				
対象 (誰を・何を)	高校生等の保護者				
内容	経済的理由により高等学校等への進学・就学が困難な者の保護者に、就学支援補助金を支給する。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	60	96	120
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	60	96	120
	職員人数 (概算職員数)	人	0.04	0.06	0.06
	人件費計 (b)	千円	239	346	339
総事業費 (a)+(b)	千円	299	442	459	
事業費内訳 H 29 年度	高校生就学支援補助金 240千円				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 申請者数	人	4	4	5
	②				
活動指標 (活動量)	① 補助者数	人	1	2	5
	②				
成果指標 (達成度等)	① 補助者率	%	25%	50%	100%
	② 補助者一人当たりの事業費	円	299,000	221,000	91,800

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	国・県の施策を補填する事業であるため。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	事業の周知から交付決定に至る手続きは適正。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	概ね図られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	コストに対し概ね効率的である。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	予算化にあたっては、実績に基づき削減している。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 国県の施策の状況により検討を要する。 各学校への周知の工夫を工夫する。	
<b>担当課による評価</b>			

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	大磯町私立高等学校等就学支援補助金制度を知らない町民が多いので、周知の工夫を工夫する。
② 平成29年度に着手する事項	広報やHPでの周知
③ 平成30年度に着手する事項	なし。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

例年どおり業務をすすめる。

予算事業名	学校運営事業（小・中学校）	シート作成日	平成29年8月28日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	15
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(2) 安全で教育効果を高める環境の整備		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	教育基本法、学校教育法				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	小・中学校の円滑な運営、充実を図る。				
対象 (誰を・何を)	小学校児童・中学校生徒、教職員				
内容	学校運営に必要なパソコン、複写機等の借上げ。教材、備品ほか各種維持管理物品の購入。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	16,349	17,053	17,494
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	5	10	
	一般財源	千円	16,344	17,043	17,494
	職員人数 (概算職員数)	人	0.04	0.49	0.49
	人件費計 (b)	千円	239	2,828	2,765
総事業費 (a)+(b)	千円	16,588	19,881	20,259	
事業費内訳	社会保険料 57 臨時雇賃金 4,032 講師等謝金 50 看護師謝金 204 費用弁償 188 消耗品費 6,211 燃料費 1,393 印刷製本費 509 飼料費 4 医薬材料費 236 通信運搬費 241 手数料 405 複写機借上料 2,164 H 29 年度 学校備品購入費 1,800 (千円)				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・生徒・教職員数	人	2,535	2,475	2,514
	②				
活動指標 (活動量)	①				
	②				
成果指標 (達成度等)	① 児童・生徒・教職員一人当たりの事業費	円	6,544	8,033	8,058
	②				



#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	各学校の運営に係る経費
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	各学校の運営に係る経費を限られた予算の中で活用している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	各学校の運営について概ね支障なく実施している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の予算の中で工夫して実施
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の予算の中で工夫して実施
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 学級消耗品、学校備品等について、適正な予算額、管理方法等について検証する必要がある。	
担当課による評価			

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	学級消耗品や机・椅子などの備品等について、管理方法や修繕方法などを検証し、必要とする品目、適正な予算額とする。
② 平成29年度に着手する事項	学級消耗品、学校備品について、適正な品目や予算額等について検証する。
③ 平成30年度に着手する事項	なし。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

例年どおり業務をすすめ、校内の環境整備を行う。

予算事業名	学校施設・設備維持事業（小・中学校）	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	16
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(2) 安全で教育効果を高める環境の整備		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校教育法				
個別計画等	大磯町教育委員会施設改修計画方針				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	安全で快適な教育環境の提供。				
対象 (誰を・何を)	小・中学校、小学校児童・中学生徒、教職員				
内容	学校施設・設備の維持管理上必要な保守・点検委託、修繕や物品の借上げを行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	53,997	51,695	51,748
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	536	113	54
	一般財源	千円	53,461	51,582	51,694
	職員人数 (概算職員数)	人	0.40	0.40	0.71
	人件費計 (b)	千円	2,388	2,309	4,007
総事業費 (a)+(b)	千円	56,385	54,004	55,755	
事業費内訳	消耗品費 1,211 光熱水費 23,628 修繕料 8,460 通信運搬費 1,245 手数料 2,429 火災保険料 1,186 調査委託料 600 自家用電気工作物保安委託料 640 消防用設備等点検委託料 649 H 29 年度 清掃業務委託料 2,710 便器清掃委託料 600 機械警備委託料 2,259 昇降機保守点検委託料 532 体育器具等点検委託料 46 樹木剪定等委託料 533 暖房設備等点検委託料 270 放送受信料 60 物 品借上料 816				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 小・中学校数	校	4	4	4
	② 児童・生徒・教職員数	人	2,507	2,448	2,486
活動指標 (活動量)	①				
	②				
成果指標 (達成度等)	① 1校当たりの事業費	円	14,096,250	13,501,000	13,938,750
	② 児童・生徒・教職員 1人当たりの事業費	円	22,491	22,060	22,428

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	各学校の維持管理経費であるため。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	各学校の維持管理経費を業者委託を併用しバランスよく実施している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	各学校の維持管理について概ね適正に実施されている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の予算の中で工夫して実施
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の予算の中で工夫して実施
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 最低限の予算で効率的に運用を図っているが、修繕予算が流用などによる後追いになることがある。	
担当課による評価			

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	計画的な修繕を実施し、施設の長寿命化を図る。
② 平成29年度に着手する事項	施設改修計画方針により、計画的な修繕実施を図る。
③ 平成30年度に着手する事項	例年に引き続き、適正な維持管理に努める。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

適正な維持管理についての検討を行う。
--------------------

予算事業名	学校プール管理運営事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	17
		事業開始年度	平成24年度

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(2) 安全で教育効果を高める環境の整備		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	大磯町教育委員会施設改修計画方針				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	学校プールを適切に管理し、児童・生徒の体力の増進を図る				
対象 (誰を・何を)	小学校児童、中学校生徒				
内容	学校プールの保守管理等、維持管理				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	548	646	642
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	548	646	642
	職員人数 (概算職員数)	人	0.07	0.07	0.07
	人件費計 (b)	千円	418	404	395
総事業費 (a)+(b)	千円	966	1,050	1,037	
事業費内訳 H 29 年度	消耗品費 86    光熱水費 330    手数料 52    ろ過装置点検委託料 87 清掃業務委託料 87    (千円)				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・生徒数	人	1,094	1,043	1,051
	②				
活動指標 (活動量)	①				
	②				
成果指標 (達成度等)	① 一人当たりの事業費	円	883	1,007	987
	②				

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	学校のプール授業として利用
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	学校のプール授業として利用
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	学校のプール授業として利用
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	最小限の経費で実施している。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	平成24年度より事業を開始し、継続して光熱水費等で節水などの適正な使用を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 最低限の予算で効率的に運用を図っているが、修繕予算が流用などによる後追いになることがある。	
担当課による評価			

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>プール施設の建設から5年以上経過しているが、定例的、法律で義務化された点検等以外の施設の適正な維持管理の方法を検討する必要がある。</p>
② 平成29年度に着手する事項	なし。
③ 平成30年度に着手する事項	上記①の検討を行う。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

<p>適正な維持管理についての検討を行う。</p>
---------------------------

予算事業名	コンピュータ教育推進事業（小・中学校）	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育指導係
		事業番号	18
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	A 教育内容の充実	事業名	—
中施策	(1) 確かな学力を育む学校教育の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校教育法施行規則				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	授業用パソコン等の活用により、ICT教育の充実を図る。				
対象 (誰を・何を)	小学校児童、中学校生徒				
内容	授業用パソコン等のリース料、消耗品等維持管理経費の支払い。コンピュータ室のコンピュータ借上げ及びインターネットの環境整備により、一層の情報教育の推進を図る。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	14,271	13,109	12,934
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	1,000		
	一般財源	千円	13,271	13,109	12,934
	職員人数 (概算職員数)	人	0.48	0.13	0.13
	人件費計 (b)	千円	2,901	750	734
総事業費 (a)+(b)	千円	17,172	13,859	13,668	
事業費内訳 H 29 年度	消耗品費 741    通信運搬費 301    電子計算機借上料 11,892 (千円)				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・生徒数	人	2,385	2,322	2,359
	②				
活動指標 (活動量)	① パソコン設置台数	台	184	184	184
	②				
成果指標 (達成度等)	① 児童・生徒一人当たりの事業費	円	5,067	5,968	5,794
	② パソコン1台当たりの児童・生徒数	人	12.96	12.62	12.82

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	児童生徒が学習用に使用するコンピュータの整備であり、教育委員会学校教育課で実施することは妥当。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	コンピュータの借り上げについては保守も含めたリース契約を行い、維持・管理を行っているので妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	タブレットPCを中心に授業の中で活用が図られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	一括入札によるリース料の軽減。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	一括入札によるリース料の軽減。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	リース契約が続いている中での運用なので、維持管理も含め、安定したICT機器の活用ができています。今後はさらなるICT環境整備を視野に入れたい。

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>昨年度に続いて、各校教員の多大な協力の中、授業での活用が試行されてきた。各機材の使用方法について、より多くの教員に定着するような研修を計画・実施できている。より効果的なICT機器の活用に向けて、各校の実情に応じた具体的な活用方法について、より深めていく。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>各校の使用状況に応じた、ICT機器の活用研修を実施。 リース契約終了に向けて、新たな教育用PCの導入計画について検討。</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>各校の使用状況に応じた、ICT機器の活用研修を実施する。 新たな教育用PCの導入。</p>

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

現在のリース契約後の教育用PCの計画について検討。教育用ソフトの導入と活用に向けた準備。

予算事業名	学校職員校務用コンピュータ整備事業（小・中学校）	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	19
		事業開始年度	平成22年度

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(1) 安全で教育効果を高める環境の整備		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	教職員の執務環境の整備により、IT活用の指導力向上及び校務情報の管理等の充実を図る。				
対象 (誰を・何を)	教職員				
内容	教職員用コンピュータ借上げ、情報セキュリティの強化				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	7,155	3,412	772
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	7,155	3,412	772
	職員人数 (概算職員数)	人	0.26	0.11	0.13
	人件費計 (b)	千円	1,593	635	734
総事業費 (a)+(b)	千円	8,748	4,047	1,506	
事業費内訳 H 29 年度	消耗品費 396    電子計算機借上料 376    (千円)				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 教職員数	人	149	153	155
	②				
活動指標 (活動量)	①				
	②				
成果指標 (達成度等)	① 一人当たりの事業費	円	52,805	26,450	9,716
	②				



#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	学校の授業・事務用のPC管理
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	学校の授業・事務用のPC管理
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	個人PCの持ち込み廃止、情報管理の適正化を図ることが出来た。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	一括入札によるリース料の軽減
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	一括入札によるリース料の軽減
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b>  グループウェアの活用を図ると同時に、新規リース契約に向けて検討の必要がある。	

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>校務PCの活用について、引き続き情報教育担当教員等と連携を図っていく。業務のさらなる簡略化を目指し、学校教育課と各学校をネットワークで繋げる手立てについて探っていく。今後想定される新しいPCの導入について、各学校と連携し、計画的な運用を考えていく。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>新規PCの導入。 校務支援システム導入に向けての検討。 整備事業の統合</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>なし</p>

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

校務用PCのリース契約による入替えに向けて、仕様書等の作成。

予算事業名	要保護・準要保護児童就学援助事業（小・中学校）	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	21
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(1) 安全で教育効果を高める環境の整備		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校教育法				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	経済的理由による就学への支障を防止する。				
対象 (誰を・何を)	要保護世帯、要保護世帯に準じた状況にあると判断される世帯の児童・生徒の保護者				
内容	通学費、給食費、学用品費、修学旅行費等の就学援助費を支給し、保護者の経済的負担を軽減し、児童・生徒の就学機会を確保する。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	10,723	11,925	14,808
	国庫支出金	千円	50	67	36
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	10,673	11,858	14,772
	職員人数 (概算職員数)	人	0.21	0.21	0.12
	人件費計 (b)	千円	1,253	1,212	677
総事業費 (a)+(b)	千円	11,976	13,137	15,485	
事業費内訳 H 29 年度	要保護・準要保護児童生徒就学援助費 14,772千円 → (別途) 国庫補助金 36千円				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・生徒数	人	2,385	2,322	2,359
	②				
活動指標 (活動量)	① 支給対象児童・生徒数	人	157	150	163
	②				
成果指標 (達成度等)	① 児童・生徒1人当たりの事業費	円	76,280	87,580	95,000
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 法令により実施
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 法令により実施
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 法令により実施
	・コストに対して効率的か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 法令により実施
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 法令により実施
	担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 児童扶養手当など、他課の連携について、改善の余地あり。

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	事務手続きの改善・支給金額の見直し。
② 平成29年度に着手する事項	なし。
③ 平成30年度に着手する事項	事務手続きの改善・支給金額の見直し。

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

支給金額の見直しを行い、概ね要求どおり支給を行う予定。

予算事業名	教育振興推進事業（小・中学校）	シート作成日	平成29年8月28日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	教育振興推進事業	係名	教育総務係
		事業番号	22
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	A 教育内容の充実	事業名	—
中施策	(2) 健やかな体を育む学校教育の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校教育法施行規則・教育公務員特例法					
個別計画等	—					
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—		
目的 (何のために)	児童・生徒の教育環境の充実を図る。 教職員の研修への参加を促し、教職員の資質向上を図る。					
対象 (誰を・何を)	小学校児童・中学校生徒、教職員					
内容	35人学級の実施による臨時教諭の配置、学校指導関係の運営経費、各教科等研究・研修の負担金支出。					
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他					
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)		
事業費	直接事業費 (a)	千円	8,268	9,695	10,473	
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	8,268	9,695	10,473	
	職員人数 (概算職員数)	人	0.13	0.11	0.12	
	人件費計 (b)	千円	776	635	677	
総事業費 (a)+(b)	千円	9,044	10,330	11,150		
事業費内訳	社会保険料	851	臨時雇賃金	4,680	各教科等負担金	680
H 29 年度	消耗品費	4,051	校長会等負担金	201	進路指導負担金	10

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・生徒、教職員数	人	2,535	2,475	2,514
	②				
活動指標 (活動量)	① 1学級あたりの児童・生徒数	人	40	38	39
	②				
成果指標 (達成度等)	① 児童・生徒、教職員数当たりの事業費	円	3,568	4,174	4,435
	②				

#### 4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 教育環境の充実、教職員の資質向上が目的であり、妥当と考える
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 教育環境の充実、教職員の資質向上が目的であり、妥当と考える
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 円滑な教育が推進されており、成果は概ね得られていると考える。また、35人以下学級非常勤講師の雇用も概ね良好である。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 概ね効率的と考える。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 コスト削減を図れる余地はない。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 教育環境の充実、教職員の資質向上が目的であり、円滑な教育が推進されているため。

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	なし。
② 平成29年度に着手する事項	なし。
③ 平成30年度に着手する事項	なし。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

教職員が参加する研修会の充実を図り、事務の適正化を図っていく。

予算事業名	教育振興推進事業（小・中学校）	シート作成日	平成29年8月28日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	生徒会・部活動等補助事業	係名	教育総務係
		事業番号	23
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	A 教育内容の充実	事業名	—
中施策	(2) 健やかな体を育む学校教育の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	生徒会活動と部活動の支援により、生徒の健全な成長を支援する。				
対象 (誰を・何を)	小学校児童・中学校生徒				
内容	生徒会活動費の補助金支給、部活動費の補助金支給、児童派遣費補助金				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,838	3,294	2,922
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,838	3,294	2,922
	職員人数 (概算職員数)	人	0.11	0.11	0.11
	人件費計 (b)	千円	657	635	621
総事業費 (a)+(b)	千円	3,495	3,929	3,543	
事業費内訳	児童派遣費補助金	144	部活動補助金	2,000	
H 29 年度	生徒会補助金	778			

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童数	人	1,580	1,570	1,592
	② 生徒数	人	805	752	767
活動指標 (活動量)	① 部活動在籍児童・生徒数	人	1,390	1,381	1,400
	②				
成果指標 (達成度等)	① 部活動在籍率	%	88.02%	87.96%	87.94%
	② 部活動在籍児童生徒一人当たりの事業費	円	2,514	2,845	2,531

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	各学校の部活動補助のため。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	補助金の形式が度々変更になっている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	生徒会活動に必要な補助であるが、その成果の有効性が見えにくい。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	生徒会活動に必要な補助であるが、その成果の有効性が見えにくい。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	補助対象費は概ね適正
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	補助のあり方については、定期的な検証が必要。

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	補助金支給事務について、現場の実態に合ったよりよい形となるように検証していく。
② 平成29年度に着手する事項	検証材料の収集。
③ 平成30年度に着手する事項	29年度の状況を見て検討していく。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

小学校の音楽コンクール参加のための派遣費や、中学生の生徒活動費や部活動の大会参加費を補助し、課外活動の充実を支援する。

予算事業名	特別支援教育就学奨励事業（小・中学校）	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	24
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 学校教育	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(1) 安全で教育効果を高める環境の整備		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	教育基本法				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	特別支援学級に通う児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減する				
対象 (誰を・何を)	小学校児童・中学校生徒の保護者				
内容	特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、学用品費等を一部助成し、その経済的負担を軽減する。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,201	1,507	2,225
	国庫支出金	千円	437	506	981
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	764	1,001	1,244
	職員人数 (概算職員数)	人	0.13	0.13	0.08
	人件費計 (b)	千円	776	750	451
総事業費 (a)+(b)	千円	1,977	2,257	2,676	
事業費内訳 H 29 年度	特別支援就学奨励費 1,244千円 → (別途) 国庫補助金 981千円				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・生徒数	人	2,385	2,322	2,225
	②				
活動指標 (活動量)	① 支給対象児童・生徒数	人	27	29	43
	②				
成果指標 (達成度等)	① 対象者一人当たりの事業費	円	73,222	77,828	62,233
	②				



#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	法令により実施
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	法令により実施
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	法令により実施
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	法令により実施
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	法令により実施
	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	法令により実施
担当課による 評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由  国庫補助制度により実施している。

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	事務手続きの改善・支給金額への見直し
② 平成29年度に着手する事項	なし。
③ 平成30年度に着手する事項	事務手続きの改善・支給金額への見直し

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

各校の事務担当と連携をとり、事務手続きや支給額の改善を行っている。

予算事業名	学校給食運営事業（小学校）	シート作成日	平成29年8月28日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	25
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	4 次代を担う人づくりの形成	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(2) 学校給食の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校給食法				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	学校給食法に基づき、児童生徒の心身の健全な発達に資し、かつ食生活の改善に寄与する。				
対象 (誰を・何を)	小学校児童、小学校教職員、給食調理員				
内容	学校給食の運営に必要な消耗品の購入、臨時給食調理員の雇用				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	12,900	13,870	15,447
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	49		
	一般財源	千円	12,851	13,870	15,447
	職員人数 (概算職員数)	人	0.24	0.29	0.22
	人件費計 (b)	千円	1,480	1,674	1,241
総事業費 (a)+(b)	千円	14,380	15,544	16,688	
事業費内訳	社会保険料	179	臨時雇賃金 12,701	普通旅費 11	全国栄養士協議会神奈川県支部負担金 14
H 29 年度	手数料	324	消耗品費 1,972	給食検体持込委託 219	県栄養士会負担金 27

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・小学校教員数	人	1,675	1,656	1,682
	②				
活動指標 (活動量)	① 年間食数	食	315,210	303,048	302,760
	②				
成果指標 (達成度等)	① 児童・教職員一人当たりの事業費	円	8,585	9,386	9,922
	②				

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	自校方式の給食室として運営
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	おおむね妥当と考える。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	児童に栄養バランスを考慮した給食を適切に提供
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の予算で実施
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の予算で実施
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b>  正規給食調理員の退職により運営方法の検討が必要。	

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>正規職員の定年退職等の理由から、給食調理員の安定した雇用が課題となっている。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>小学校給食調理員委託への検討</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>調理の委託化の検討</p>

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

学校給食の調理の委託化について、関係者との調整を図り、小学校給食事業の充実について検討する。

予算事業名	学校給食施設・整備維持事業（小学校）	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名	—	係名	教育総務係
		事業番号	26
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	4 次代を担う人づくりの形成	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(2) 学校給食の推進		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校給食法				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	安全で安定した学校給食の提供を図る。				
対象 (誰を・何を)	小学校、小学校児童、小学校教職員、給食調理員				
内容	学校給食施設・設備の維持管理上必要な保守・点検委託及び修繕、備品購入、燃料費調達を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	11,416	5,644	9,543
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	11,416	5,644	9,543
	職員人数 (概算職員数)	人	0.07	0.24	0.22
	人件費計 (b)	千円	398	1,385	1,241
総事業費 (a)+(b)	千円	11,814	7,029	10,784	
事業費内訳	燃料費 2,400 修繕料 1,500 手数料 868 給食用小荷物専用昇降機保守点検委託料 324 害虫駆除殺菌消毒委託料 91 ボイラ一点検委託料 87 生ごみ処理機保守点検委託料 324 給食用備品購入費 3,949 (千円)				
H 29 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 学校数	校	2	2	2
	② 児童・小学校教職員数	人	1,660	1,651	1,676
活動指標 (活動量)	①				
	②				
成果指標 (達成度等)	① 学校当たりの事業費	千円	5,907	3,515	5,392
	② 児童・教職員一人当たりの事業費	円	7,117	4,257	6,434

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	各学校の維持管理経費であるため。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	各学校の維持管理経費を業者委託を併用しバランスよく実施している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	各学校の維持管理について概ね適正に実施されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の予算の中で工夫して実施
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の予算の中で工夫して実施
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 最低限の予算で効率的に運用を図っているが、修繕予算が流用などによる後追いになることがある。	
担当課による評価			

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	施設の老朽化への対応
② 平成29年度に着手する事項	なし。
③ 平成30年度に着手する事項	例年に引き続き、適正な維持管理に努める。

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

適正な維持管理についての検討を行う。
--------------------

予算事業名	学校給食運営事業	シート作成日	平成29年8月25日
		担当課名	学校教育課
細分事業名		係名	教育総務係
		事業番号	27
		事業開始年度	—

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅳ 心豊かな人を育てるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	4 次代を担う人づくりの形成	認定番号	—
大施策	B 教育環境の充実	事業名	—
中施策	(2) 学校給食の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校給食法				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	学校給食法に基づき、生徒の心身の健全な発達に資し、かつ食生活の改善に寄与する。				
対象 (誰を・何を)	中学校生徒、中学校教職員				
内容	学校給食の運営に必要な業務委託費用や栄養計算保守委託費用の支払				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	13,924	33,337	35,592
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	13,924	33,337	35,592
	職員人数 (概算職員数)	人		0.82	0.92
	人件費計 (b)	千円		4,733	5,192
総事業費 (a)+(b)	千円	13,924	38,070	40,784	
事業費内訳 H 29 年度	委託料 35,592千円＝保守委託料 130千円＋中学校給食調理配送委託料 35,462千円				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 児童・中学校教員数	人	847	797	810
	②				
活動指標 (活動量)	① 年間食数	食	35,171	128,476	124,986
	②				
成果指標 (達成度等)	① 生徒・教職員一人当たりの事業費	円	16,439	47,767	50,351
	②				

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	中学生にとって、栄養バランスのよい食事を提供するには、栄養士による献立作成と栄養管理をすることが妥当と考えるため。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	施設設備費が抑えられる、早期導入が可能、配膳・片付け時間が短時間（カリキュラムへの影響が少ない）ということで、おおむね妥当と考える。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	生徒に栄養バランスを考慮した給食を適切に提供出来ている点は成果であるが、他市町と比較し、残食量が多い点について、さらなる改善が求められる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の予算で実施
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	最低限の予算で実施
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	生徒の心身の健全な発達、食に対する正しい理解と適切な判断力の育成等を学ぶ機会として、義務教育9年間を通じた食育をつなげる基礎ができた。
担当課による 評価			

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	見たりや味・量の問題、献立の内容等について、生徒や教職員の意見も参考にしながら改善していく。
② 平成29年度に着手する事項	中学校給食の運営に関する課題を把握し、改善する。
③ 平成30年度に着手する事項	平成31年度からの給食方式について具体的な実施方法を決定する。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

中学校給食実施方式検討に係る調査委託。懇話会を再開し、今後の給食のあり方を検討していく。
--